

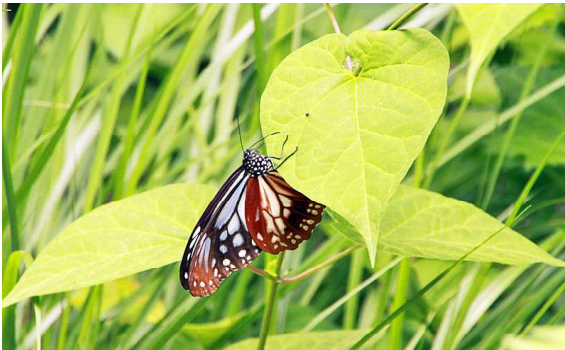
【アサギマダラ シリーズ】

1. 産卵 孵化 幼虫

2013.6.9~6.28

6月9日、近くの山道を歩いていて、偶然アサギマダラに遭遇。この時期信州で見かけるのは珍しく追いかけていたら、イケマの葉に産卵しました。標高1000メートルの高冷地で6月始めの産卵は意外でしたので、食草ごと家に持ち帰り観察を続ける事にしました。6日目に2匹が孵化しましたが、25日に1匹が何かに襲われ傷つき成長が止まり死んでしまいました。もう1匹は脱皮を繰り返し無事成長し、体の色も艶やかになり、前後に鞭状の突起が生え、体長5センチほどで蛹になる準備を始めました。

6 / 9 イケマの葉に産卵



6 / 15 孵化した幼虫、体長1.5ミリ
すぐに卵の殻を食べる

葉の裏に産み付けられた卵



6 / 22 2匹が脱皮して色が変わる
このときまで2匹は元気



6 / 25 何者かに1匹が襲われ傷つき
2日後に死ぬ



6 / 28 1匹は新しく補給した葉を食べ
順調に成長し蛹になる準備



2 . 幼虫 蛹

2013.6.30~7.2

6 / 30 蛹になる位置を
探し蔓に尻を貼り付ける



7 / 1 10:50
幼虫の色が変わる



13:50 体を伸ばし
脱皮が始まる



13:05 脱皮が進み最後に尻を振って殻を落とす



13:15
下に落とした殻



13:20 脱皮を終え蛹となる



7 / 2 一夜明けた朝、蛹は鮮やかな緑色の達磨型で、
黒い点線と金色の斑点が浮き出た綺麗な蛹に
なっていた



3 . 蛹 蝶

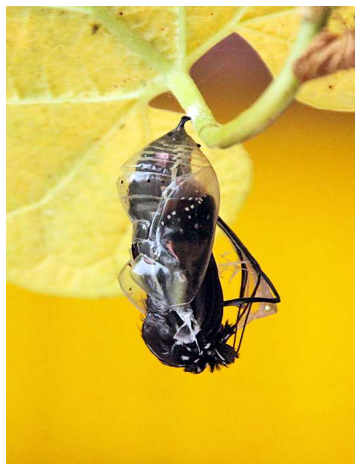
2013.7.14

昨日から、蛹の色が黒く変色したので、今朝、羽化するだろうと思い、午前5時30分に撮影の準備をしていたところ、5時58分に羽化が始まり、舞い立ったのが8時37分。舞い立つ前にはキアゲハの“羽化競演”のドラマもあり、感動の朝でした。

5時45分 緑色の綺麗な蛹が真っ黒に変色し、翅の模様が透けて見える



5時58分34秒 殻がぱちっと割れ羽化が始まる



5時59分03秒 体全体が殻から抜け出る



5時59分15秒から 翅が徐々に伸び始める



6時22分35秒 口吻を伸ばしたり丸めたりする



6時30分19秒 完全に伸びた翅を開閉しながら乾かす



アサギマダラという蝶は旅をする蝶として有名ですが、日本の各地でも成育し発生しているのです。冬は幼虫態で葉の裏に隠れて越冬します。